



まんまる

Miura peninsula

2021年8月号 (vol.145)

発行: 横須賀エリア

問い合わせ: エリア活動課

TEL: 045-470-6863

(月~金 10時~17時)

横須賀エリア交流会

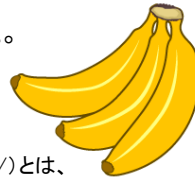
シャプラニール学習会

6月7日(月)10時30分~、ZOOMを利用し、オンライン横須賀エリア交流会を実施しました。

はじめに「バングラデシュの衣料工場働く女工たち」というDVDを視聴しました。先進国の消費の裏側で、貧困、格差、児童労働や低賃金の問題を抱えている国が存在することを、改めて、深く考えさせられました。幼い子どもたちが食べるため、生きるために劣悪な環境で労働に携わっている映像には胸が痛みました。エリアメンバーでの意見交換では、私たちに何ができるのか、といった視点からの積極的な意見交換が行われました。

私たちにできることが何かを考えたとき、すぐにこれがベストだとの答えにはたどりつきませんでした。知ることの大切さ、広めることの大切さ、などみんなで考えるよい機会になりました。

ひとつは小さなアクションでも、集まれば前進するのではないかという前向きな意見も生まれ、とても有意義な時間になりました。



* シャプラニール

(<https://www.shaplaneer.org/>)とは、日本の国際協力NGOです。

試食では、公正貿易活動を支える目的で始まった民衆交易バナナの『エコ・バナナ(バラゴン)』を試食しました。各々がおすすめの食べ方を披露し、保存方法の共有もできました。フェアトレードの食品を選んで、食べることも小さなアクションのひとつかな...



画像: シャプラニール提供

今年度もオンラインでのエリア交流会となりましたが、自宅からの参加の利点を生かし、各々の試食アレンジも見て、聞くことができ興味深かったです。(HM)



バラゴンバナナを使った
ホットサンド

中野センター長のつぶやき

横須賀センターにフードドライブ回収ボックスを設置しました。働いている職員やステーションパルご利用の方から集めた食品はフードバンク神奈川を通じて、子ども食堂や地域食堂へ提供してまいります。

今後、配送便でもフードドライブの活動を予定していますので、みなさんも、是非、参加いただければと思います。



編集後記

シャプラニール学習会、想像以上に自分の無知を思い知らされ、改めて自分に何ができるのか、考える良い機会となりました。

まずは「知ること」「伝えること」。本当に大事です。私もできることを少しずつでもできたら、と思います。YK